

2. 基礎調査の概要

2.1 基礎調査の目的

バリアフリー基本構想の策定のため、平成 26 年度にアンケート調査をはじめとする基礎調査を行い、検討に必要となる資料の整理を行いました。（調査内容や結果の詳細は参考資料 2 を参照）

2.2 調査項目

調査項目	調査内容	備考
(1)区民アンケート調査	<u>区内のバリアフリーに関する関心度や課題を把握</u> するとともに、バリアフリーに関する情報提供や啓発を意識したアンケート調査を実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> 調査期間：平成 26 年 12 月 26 日～平成 27 年 1 月 16 日 対象者：住民基本台帳を基に無作為抽出した、区内在住の満 18 歳以上の区民 配布 1,047 票、回収 314 票（回収率約 30%）
(2)高齢者・障害者への意向調査	区民アンケート調査では捕捉できない <u>当事者意見を抽出</u> するとともに、平成 27 年度以降の検討への協力を呼びかけるため、高齢者・障害者団体への意向把握調査を行いました。	<ul style="list-style-type: none"> 調査期間：平成 27 年 1 月～平成 27 年 2 月 対象者：高齢者・障害者団体の代表者
(3)施設状況調査 1) 配置状況の抽出	不特定多数の高齢者、障害者等が日常的に利用する可能性のある <u>区内の主要な施設を抽出</u> し、整理しました。	抽出した施設は参考資料 3 を参照
(3)施設状況調査 2) 施設管理者へのアンケート調査	1) で抽出した施設の管理者あてに、現在の施設の <u>バリアフリー状況に関する基本的な情報と、来年度以降の検討への協力意向</u> 、連絡窓口を調査するためのアンケートを実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象施設数 178（うち区施設 88） 回答施設 146（回答率 82%）
(4)隣接自治体ヒアリング	バリアフリー基本構想策定にあたり、既に策定済みの隣接自治体へのヒアリングを実施し、 <u>策定時の配慮事項</u> などについて伺うとともに、 <u>バリアフリー推進に向けた連携・協力を依頼</u> しました。	<ul style="list-style-type: none"> 台東区、荒川区、千代田区で実施 台東区、千代田区は全区重点整備地区指定（皇居除く） 荒川区は区域の半分強の面積を重点整備地区（4 地区）に設定
(5)関連計画・統計データ等の整理	区・都の上位関連計画や区内の高齢者、障害者等に関する <u>統計データ等を整理</u> し、あわせて、区内の関係部署・課で実施しているハード・ソフトのバリアフリー施策について、 <u>関係課への照会</u> を行いました。	